

# ふくしまデジタルイノベーション地域中核拠点 整備工事基本設計説明書

令和5年度

会津大学 総務予算課 施設係

## 1 整備方針

### (1) 整備目的

本学は、地域のオープンイノベーション拠点としての数多くの実績を踏まえ、ソフト面での特徴である「会津オープンイノベーション会議（AOI会議）」の仕組みを最大限にいかすべく、現有の建屋改修と設備環境の整備を実施し、ICT分野の中でも重点5点領域に関する専門ラボ（研究環境）を新設する。新設する5つの専門ラボを利用したAOI会議、企業との共同研究を推進するとともに、併設する企業向けプロジェクトルームを使って本学シーズの社会実装化を図り、地域を中心とした交流人口の更なる拡大、デジタルを活用した新規事業の創出、スタートアップ創出のための環境の整備を推進することを目的とする。

### (2) 基本コンセプト（改修方針）

不確実かつ急激に社会環境が変化中、より柔軟で様々な状況に対応できる多様な働き方が求められており、今回整備を行う「産学イノベーションセンター・（UBIC）」における執務環境の整備を次の3つの「キーコンセプト」で計画し、課題の本質を見抜く分析力、困難な課題に取り組む忍耐力、周囲を巻き込むコミュニケーション能力及びチームで仕事ができる協調性を持った「イノベーション人材」を育成・確保していく。

#### ① オープンラボ（インキュベーションスクエア）

オープンイノベーション拠点として整備する「専門ラボ」を壁や仕切りをなくしたオープンな配置とし、互いに研究の様子が目に触れることで自然と情報交換が行われ、交流を通じて研究の場が活性化されることにより、新たな発想を生み出す空間づくり。

#### ② フリーアドレス（自席を持たずに自由に働く場所を選択できるオフィススタイル）

次の3つの効果を期待し、適所にフリーアドレスの導入。

- ・ コミュニケーションの活性化、円滑化
- ・ 省スペース化・環境美化意識の向上
- ・ 多様な執務空間による生産性の向上

#### ③ コモンズ（誰の所有にも属さない場所：共有地）

様々なアクティビティに応じて変化する自由度の高い空間として、多様な価値が混ざり合い、新しい化学変化を生み出し続ける場、また来たくなる、行きたくなる居心地の良い空間づくり。



< 外 観 >



< 交流スペース（現況） >



< ブース型オフィス（現況） >

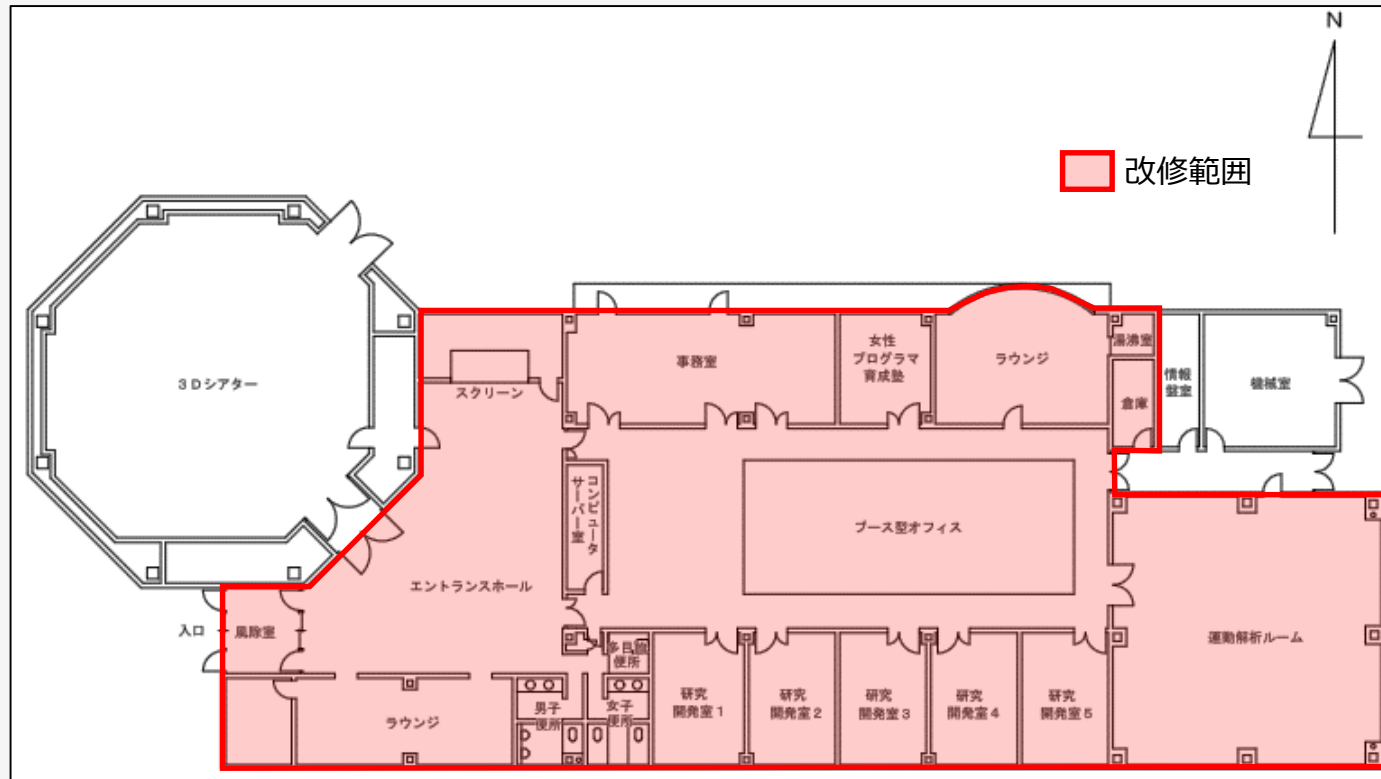
## 2 施設の概要

### (1) 既存施設概要

- 建物名称 産学イノベーションセンター
- 所在地 会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90
- 主要用途 大学（産学官連携拠点施設）
- 主要構造 S造
- 階数 地上1階
- 延べ面積 1155.71 m<sup>2</sup>
- 建設年度 1995年



(2) 改修範囲



< 平面図 > 改修面積 : 841.51m<sup>2</sup>

## ふくしまデジタルイノベーション地域中核拠点整備工事基本設計説明書

### (3) 改修内容

・改修範囲内の内部改修を行う。(※3Dシアター出入口脇の受付スペース改修含む。)

各工事は次のとおり

【建築工事】天井、床、壁、間仕切り等をすべて撤去し、新設とする。

【電気設備工事】照明器具、コンセント類、火災報知設備、防犯設備等を基本すべて更新する。

【機械設備工事】給排水衛生設備等を基本すべて更新する。また、空調設備と換気設備は、既存のセントラル方式から建物単独方式に更新する。

#### 改修前

各室面積一覧		
風除室	149.95 m <sup>2</sup>	841.5 m <sup>2</sup>
エントランスホール		
エントランスホールスクリーン裏倉庫		
ラウンジ	51.20 m <sup>2</sup>	
機械室		
事務室	124.68 m <sup>2</sup>	
女性プログラム育成塾		
ラウンジ		
湯沸室		
倉庫		
ブース型オフィス	223.32 m <sup>2</sup>	
コンピュータサーバ室		
研究開発室 1	121.20 m <sup>2</sup>	
研究開発室 2		
研究開発室 3		
研究開発室 4		
研究開発室 5		
運動解析ルーム	139.56 m <sup>2</sup>	
トイレ	31.60 m <sup>2</sup>	



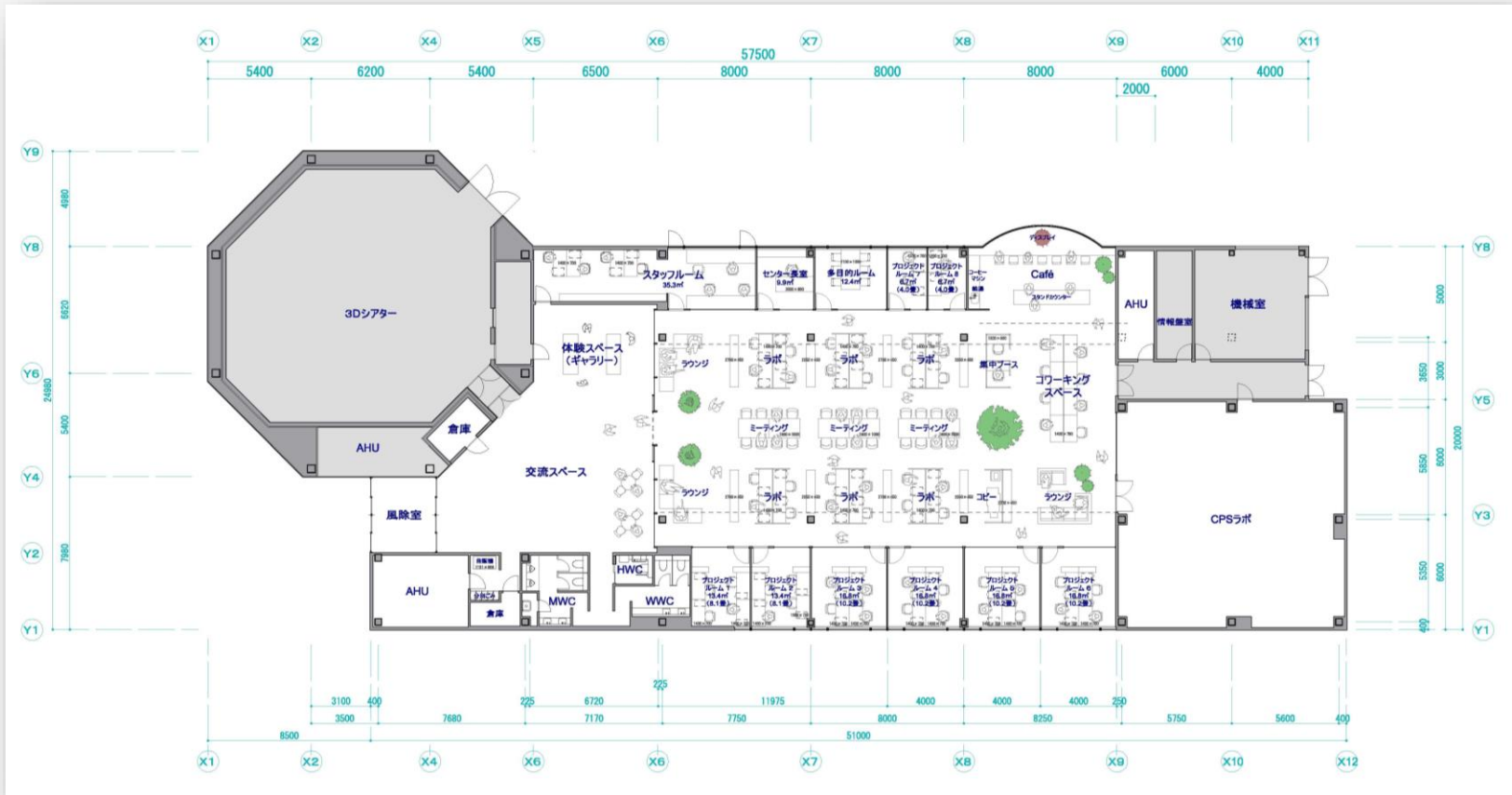
#### 改修後

各室面積一覧			備考
風除室	13.5 m <sup>2</sup>	841.5 m <sup>2</sup>	自動ドア
交流スペース・体験スペース	115.6 m <sup>2</sup>		OA707
自販機・ゴミ置場スペース	6.1 m <sup>2</sup>		
倉庫	4.4 m <sup>2</sup>		
AHU	20.0 m <sup>2</sup>		
インキュベーションスクエア (専門ラボ、ミーティングスペース等)	300.0 m <sup>2</sup>		OA707、ガラスカーテンウォール
カフェスペース	30.4 m <sup>2</sup>		流し台、OA707
スタッフルーム	35.3 m <sup>2</sup>		ブラインド、網戸、OA707、パーテーション (一部ガラス)
センター長室	9.9 m <sup>2</sup>		ブラインド、網戸、OA707、パーテーション (一部ガラス)
多目的ルーム	12.4 m <sup>2</sup>		ブラインド、網戸、OA707、パーテーション (一部ガラス)
プロジェクトルーム1	13.4 m <sup>2</sup>		ブラインド、網戸、OA707、パーテーション (一部ガラス)
プロジェクトルーム2	13.4 m <sup>2</sup>		ブラインド、網戸、OA707、パーテーション (一部ガラス)
プロジェクトルーム3	16.8 m <sup>2</sup>	ブラインド、網戸、OA707、パーテーション (一部ガラス)	
プロジェクトルーム4	16.8 m <sup>2</sup>	ブラインド、網戸、OA707、パーテーション (一部ガラス)	
プロジェクトルーム5	16.8 m <sup>2</sup>	ブラインド、網戸、OA707、パーテーション (一部ガラス)	
プロジェクトルーム6	16.8 m <sup>2</sup>	ブラインド、網戸、OA707、パーテーション (一部ガラス)	
プロジェクトルーム7	6.7 m <sup>2</sup>	ブラインド、網戸、OA707、パーテーション (一部ガラス)	
プロジェクトルーム8	6.7 m <sup>2</sup>	ブラインド、網戸、OA707、パーテーション (一部ガラス)	
トイレ	34.5 m <sup>2</sup>	一部ビット	
AHU	12.4 m <sup>2</sup>		
CPSラボ	139.56 m <sup>3</sup>		

### 3 改修計画

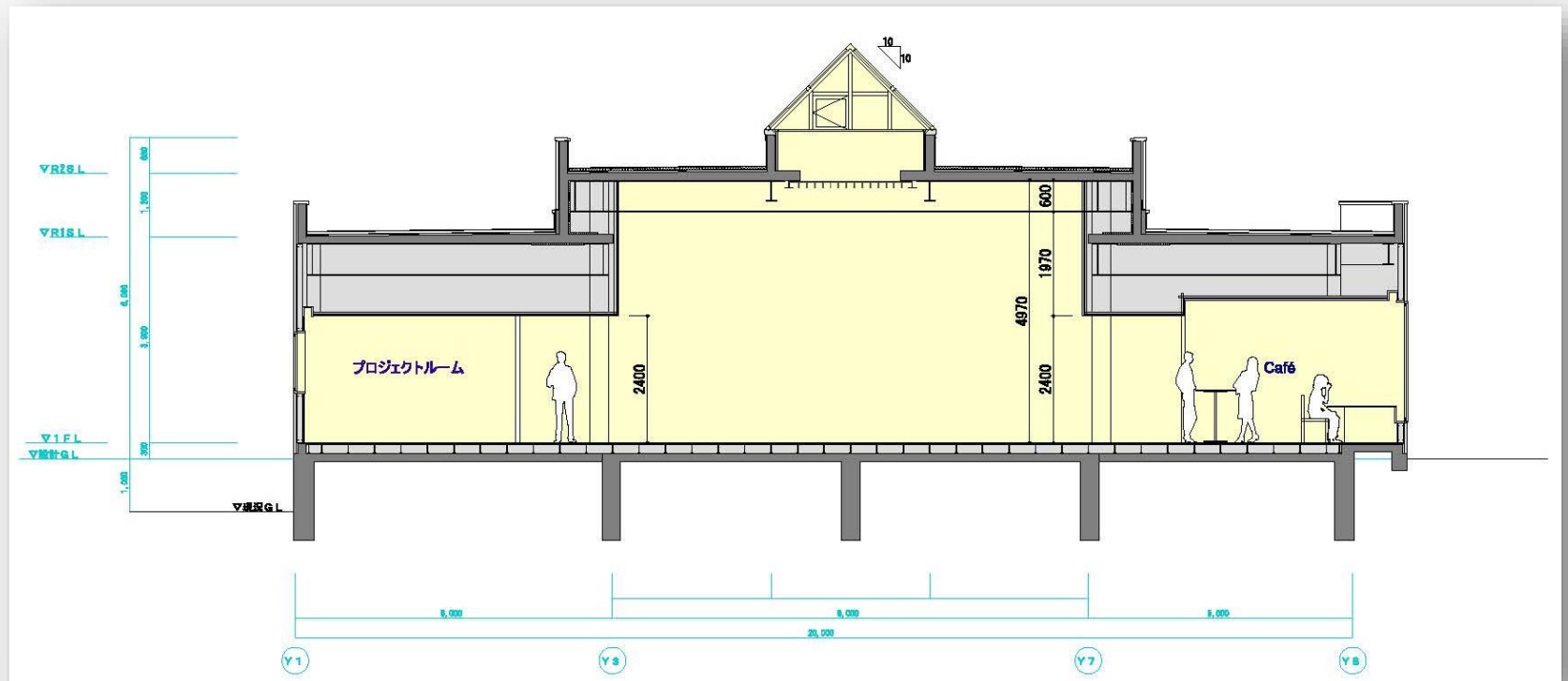
#### (1) 平面計画

- ・交流スペース、体験スペース及びインキュベーションスクエアは、オープンな空間とし、交流を通じて研究の場を活性化し、新たな発想が生み出される空間とする。
- ・外壁に面する部分には、貸出用の大小 8 つのプロジェクトルーム及び多目的に利用できる部屋を配置する。また、専属のスタッフルーム及びセンター長室を配置する。
- ・トイレは、現在よりも広く出入口扉の無い、衛生的で使いやすいものとする。



(2) 断面計画

- ・中央のインキュベーションスクエアは、天井高さを出来るだけ高く開放的な空間にするため、天井を撤去し鉄骨梁を表しとする。また、トップライトからの採光が均一となるよう格子ルーバーを設ける。
- ・インキュベーションスクエアのオープンな空間を広く確保したいため、両側の各屋の壁は撤去し、鉄骨柱を表しとする。また、プロジェクトルームやスタッフルーム等は、天井高さをH=2,400とし、新設の間仕切り壁をガラスのパーティションとすることにより、奥行きのある広い空間のイメージとする。



### (3) 建築内装計画

- ・天井、壁、床、間仕切り等はすべて撤去し、新設とする。
- なお、CPSラボ（運動解析ルーム）については、インキュベーションスクエアと面する壁の改修（ガラス窓設置）に止める。
- ・交流スペースとインキュベーションスクエアの間仕切り壁は、ガラスカーテンウォールとする。
  - ・カフェスペース（既設ラウンジ）は、床のシンダーコンクリートを取り壊し、インキュベーションスクエアの床の高さに合わせたOAフロアとする。
  - ・各ルーム窓際の壁やカフェスペースの内装は、県産木材を利用したものとする。
  - ・スタッフルームとカフェスペースにカウンターを設置し、県産木材を利用したものとする。
  - ・インキュベーションスクエア部分の鉄骨の柱と梁を表しとする。
  - ・トップライトからの採光を拡散するため、格子ルーバーを設ける。
  - ・既存トイレのピットは、新設トイレのピットに利用し、一部トイレ拡張する部分は、床スラブを撤去し、新設トイレのピットを設ける。
  - ・適所に備品等も含め、会津塗り等、地場産材を活用する。

### (4) 電気設備計画

#### 【電灯設備】

- ・照明器具は、LED照明にすべて更新し、交流スペースの照明器具は調光式とする。
- ・交流スペースとインキュベーションスクエアの照明器具の配線は、レースウェイとし柔軟な照明配置とする。
- ・電源は、OAフロア用コンセントとし、清掃用に壁コンセントを設ける。
- ・照明器具は、人感センサー及び調光センサーとする。
- ・既存の分電盤等を生かし配線は、エコケーブルころがし配線とする。
- ・電灯設備は、防犯設備システムと連動し、ON/OFFできる機器とする。

#### 【通信・情報設備】

- ・電話配線は、床ころがし配線としOAフロア用取り出しタイプとする。
- なお、LANは別途工事とする。
- ・電気時計は、撤去し電波時計とする。
  - ・拡声設備は、すべて更新する。
  - ・端子盤等は、既存を利用する。

#### 【火災報知設備】

- ・受信機は更新し、設置場所を現在の受付カウンターからスタッフルームへ変更する。
- ・感知器等は、すべて更新する。
- ・中央監視室の機器と連携する。

#### 【防犯設備】

- ・施設出入口及び各ルームの電気錠は、既存と同じICカードキー式のものに更新する。
- なお、裏口扉の鍵も電気錠としICカードキー式とする。
- ・各室の電気錠は、照明設備及び空調設備のON/OFF機能に連動させる。
  - ・防犯カメラの映像は、管理棟1階の警備員室モニターで確認できるものに更新する。
  - ・既存防犯設備で改修が必要な箇所は、更新する。



#### (5) 機械設備計画

##### 【給排水衛生設備】

- ・多目的トイレは、身障者用便器 1 組、身障者用洗面器 1 組とする。
- ・男子トイレは、洗面器 2 組、小便器 2 組、洋風大便器 2 組、掃除流し 1 組とする。
- ・女子トイレは、洗面器 2 組、洋風大便器 2 組とする
- ・トイレの大便器用の便座は節水型ウォシュレットとし、小便器は壁掛け型とする。
- ・各水栓、小便器及び洗面器は、自動水栓とする。
- ・カフェスペースには、混合水栓及び流し台を設け、電気式小型温水器を設ける。
- ・既存の各ルームにある洗面化粧台及び湯沸室の流し台等は、撤去する。
- ・既存トイレの給排水衛生設備は、すべて撤去する。
- ・給排水管は、既存躯体開口部を利用して配管する。

##### 【空調和設備】

- ・スタッフルーム、センター長室、多目的ルーム及びプロジェクトルームは、個別空調設備とする。
- ・3Dシアター、交流スペース、インキュベーションスクエア（カフェスペースを含む）、CPSラボの空調設備は、既存冷温水を利用した空調設備及び配管を撤去し、建物単独での運転方式に変更する。また、EHP方式の空調設備とし、大空間における温度環境を考慮し、寒暖差を極力少なくするため、主空調設備の他、副として床下からの空調システムとした構成とする。
- ・空調システムは、防犯設備のシステムと連動し、ON/OFFできる機器とする。
- ・換気設備は、24時間換気とし全熱交換型とする。

#### 4 概算工事費

建築工事	89,900,000 円
電気設備工事	42,780,000 円
機械設備工事	29,180,000 円
<hr/>	
計	161,860,000 円（税別）
	<b>178,046,000 円（税込み）</b>
うち補助対象額（172,500,000 円）	